

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	交流施設費	基本目標	地産地消の推進				
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	長友和也	評価者	長町信幸	開始年度 H13 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	総合交流ターミナル施設の管理							
	意図・目的	施設の適切な管理を行うことで、施設の安全な運営を行う。							
事業の内容	総合交流ターミナルに関わる各施設の管理委託を通して適正な維持管理を行う。								
22年度決算額	17,688	千円	23年度予算額	14,793	千円	事業従事者数	H22 0.20 人	H23 0.20 人	
主な支出項目	需用費	746	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	1,439	千円
	委託料	16,856	千円	県支出金		千円	23年度人件費	1,427	千円
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)	100.0	%
			千円	一般財源	14,793	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください		
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名					
	補助交付団体			補助金要綱					
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額		円 終期 年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等				
補助の割合		#N/A	%						
	繰越額	#N/A	円						

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 管理委託	専門業者への管理委託を行う。
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 施設確認	年2回以上の維持管理確認を行う。
	2 修繕	運営上支障のある修繕について、随時適切な修繕を行う。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	管理委託	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	施設確認	目標値	1	2	4
		実績値	1	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
	修繕	目標値	4	3	4
		実績値	4	3	
		達成率	100.0%	100.0%	
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	交流施設費	担当課(局)	産業振興課
-------	-------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		
		自己評価	委員評価	
妥当性 (必要性)	施設管理者として榊めいりんの里が運営を行っているが、施設自体町の所有であるため町が行うことが妥当と考える。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
		◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	総合交流ターミナルの運営が健全に行われている。	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
		◎すでに目的は達成されていないか	2	-
効率性	榊めいりんの里の経営に成果が上がっている、経費、時間の削減については検討の余地があると考え、たとえば業者との協議による委託料の見直し等。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
		◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性	専門業者でないと維持管理は困難である。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
合計(最高18点)			15	-

※町補助をしている場合のみ記入

公益平性 (公益性)		◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
		◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)			0	-
その他				

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	今後の方向性			
		拡充	現状維持	縮小	廃止
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	施設は老朽化しており、改修のための経費負担増が考えられる。				○
		コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎経営努力を促し、自立的かつ安定的な運営ができるように軌道修正を断行すべきである。 ◎今後、施設管理も含めて多くの経費が必要となると考え、それを検討する必要がある。 ◎この事業の施設改修費を全て町でまかなうやり方は、疑問を感じる。第三セクターで運営している意味を踏まえ検討するべきである。 ◎入湯税の取扱いなど今後の管理経費について検討が必要である。 ◎レジオネラ対策も含め老朽化に伴う大型補修計画を作成するべきである。 ◎委託費用も含めた指定管理者の検討が必要である。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	